

## 福田 俊（ふくだ さとし）プロフィール

経歴：1975年 日本獣医畜産大学大学院修士課程修了後、科学技術庁（現：文部科学省）放射線医学総合研究所に採用。退職まで内部被ばく研究部～緊急被ばく医療研究センターで「プルトニウムやウランの毒性研究および体外排泄促進剤の開発研究」に従事。セシウムの除去剤の研究や緊急時医療対策専門委員会の安定ヨード剤の検討や体外除染剤委員会などの委員。

1997年4月-2006年3月、併行して国際宇宙放射線医学センターや宇宙放射線防護プロジェクトで「宇宙放射線と微小重力の生体影響の研究」。スペースシャトル「コロンビア」を用いた実験。その他、「ビーグル犬の生涯研究や骨代謝（骨粗鬆症）の研究」。

出身など：広島県（宮島町）。獣医学博士。

業績：1989年「放射性物質の体外除去剤 DTPA の安全性に関する研究」で保健物理学会論文賞。1998年科学技術長官業績表彰など。著書：「骨を元気にする本」（研成社 2006）、共著：「人体内放射能の除染技術」（講談社サイエンティフィック 1996）、「宇宙からヒトを眺めて、宇宙放射線の人体への影響」（研成社 2004）

趣味：油絵、海釣り、野菜作り、狂言鑑賞など。